



# 家族に関するおすすめの本



## きつねのたなばたさま【世界文化社】

(文)正岡慧子 (絵)松永禎郎

「またゆめだ」...こぎつねは亡くなったお母さんの夢をみます。

ある日、人間の男の子とお母さんが「おとうさんの病気がはやくなおりますように」と短冊に願い事をかいて七夕飾りをしていました。こぎつねも「おかあさんにあえますように」と真似をしてみました。男の子の願いは叶いましたが、こぎつねがお母さんに会うことは叶いませんでした。しかし、こぎつねが幸せに生きていくことができたのは...

つらい出来事もありますが、最後には温かな気持ちになるお話です。

## ぼくのかわいくないもうと【ポプラ社】

(作)浜田桂子

ぼくにはかわいくない妹がいる。でしゃばりでおしゃべりでいやになっちゃうよ。ある時、妹がおたふくかぜになり、学校が静かになって良かったと思っていたんだけど...

兄妹愛がほほえましく、ユーモアもたっぷりのお話です。

## つみきのいえ【白泉社】

(文)平田研也 (絵)加藤久仁生

海に浮ぶ家にひとりのおじいさんが住んでいます。そこは海の水がだんだん上にあがってしまう町だったのです。

ある日、また水が増ってきて新しい家を建てている途中に大工道具を水の中に落としてしまい拾いに行く事に...

数々の賞に輝いた短編アニメーションを絵本用に描きおろした作品です。高学年OK!

## こまるなあ おとうさん【アスラン書房】

(文)メール・シャレヴ (絵)ヨスイ・アブルアフィヤ

(訳)いぬいゆみこ

エフライムのお父さんは、家にいて小説を書くほかは何もしない。やすことなすことへまばかりで、エフライムを困らせます。ある日、参観日にケーキのコンクールをすることになり、お父さんが作ったケーキはいったい!?

父親と子どもの微妙な関係をコミカルに描いています。



## おばけかぞくのいちにちくさくびーとたろぼうのおはなしシリーズ>【福音館書店】

(作)西平あかね

「もう、おばけの時間よ」とお母さん。みんなが布団に入る頃、おばけ家族の一日が始まります。「おばけは今頃何してるの？」お父さんは、人をおどかす作中。お母さんは、朝ごはんのお買い物。どくきのこサラダにくものすスープ...♪



## うちのかぞく【世界文化社】

(文)谷口國博 (絵)村上康成

僕が笑うと家族も笑う。なんだかうれしい。あったかい。

～こんな本もあります～

- ノタンいもうといいな キヨノサチコ
- 14ひきのシリーズ いわむらかずお